

二城夏まつり(盆踊り)大会



【二城学区】

■世帯数：3,650 世帯

■人 □：9,038 人

■面 積：1.421 km²

平成 24 年 4 月 1 日現在

1

活動・取り組みの内容

- ・二城小学校において、地域の交流の場として夏まつり（盆踊り）大会を開催している。参加者数は約 2,000 人。
- ・夏祭りの運営のため、地域の各種団体が協力して運営体制を築いている。
- ・盆踊りのほか、夜店やゲーム、抽選会などを行っている。
- ・住民への広報を徹底して参加者の確保に努めているほか、活動資金の確保のため、協賛者の募集にも力を入れている。

【住民へのPR方法】

チラシの各戸配付、回覧、学区広報誌での周知

【アピールポイント】

学区内には発展会・商工会等がないため、地域住民の手づくりで夏まつりを実施している。

2

きっかけ、背景

盆踊りは、20 年ほど前に子ども会の行事として行っていたが、学区全体の交流の場として、盆踊りを夏まつりに取り込むことで内容を充実・発展させて実施してきた。

3 実施の体制

(1) 運営メンバー

区政協力委員、町内会・自治会長、
民生委員児童委員、保健委員、消防団
員、PTA、子ども会、老人クラブ
計約 120 人

(2) 他団体との協力

地域団体、ボランティア団体、企
業、NPOなど

(3) 運営協力

各世代が運営に参加することで、
後継者の育成を行っている。

4 実施のスケジュール

H24 年 5 月 夏まつり準備委員会の発足

6 月 学区広報誌での周知
夏まつり（広報版）での組回覧
夏まつり実行委員会の立ち上
げ

6～7 月 運営体制・役割の決定

7 月 28 日 二城夏まつり（盆おどり）の開
催

8 月 反省会の実施

5 成果と課題

(1) 成果・効果

夏まつりの話題を通して、住民と運営側と
のコミュニケーションを図ることができ、各
世代の学区の行事に対する考え方を理解する
ことができた。

(2) 苦労した点

今後も安定的な運営資金をどのように確保
していくか。

(3) 今後の課題・展望

夏まつりを継続して実施することを通して、
学区の他の行事についても内容を発展しなが
ら継続していくことで、担い手の世代交代を
進めていく必要がある。

